

レクチャー及び資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会(資料配布)
2. 国土交通記者会(資料配布)
3. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配布)

日時：平成28年6月1日(14:00)



国立研究開発法人土木研究所『共同研究者の募集』について (吸引工法によるダムからの土砂供給(排砂)技術に関する共同研究)

国立研究開発法人土木研究所では、平成28年度新規に実施する以下の共同研究について、共同研究者を募集しますのでお知らせします。なお、研究内容等の詳細につきましては、担当チームにお問い合わせください。

1. 土木研究所が提案する共同研究 (土研提案型：公募共同研究)

吸引工法によるダムからの土砂供給(排砂)技術に関する共同研究 (詳細は別添-1)	平成28年7月(予定) ～平成32年6月
担当：水工研究グループ 水理チーム	
<u>共同研究の目的(必要性)</u> 現在複数の土砂供給(排砂)技術が実用化されているが、下流河川環境や貯水池運用に影響を与え、多くのコストが生じるなどの課題が生じている。そのため、これらの影響を軽減でき、かつ効率的・効果的なダムからの土砂供給(排砂)技術の開発が求められている。 本共同研究では、土木研究所で技術開発中の潜行吸引式排砂管において吸引困難な物体の除去等の前処理手法について土木機械の水中施工技術の活用をする新技術の開発を行う。	
<u>共同研究の内容</u> (1) 吸引工法における塵芥等の前処理システムの開発 (2) 潜行吸引式排砂管の吸引性能の向上	

2. 募集期間 **平成28年6月1日(水)から平成28年6月30日(木) 17:00まで**

3. その他 土木研究所の共同研究制度の概要や申請書等の様式につきましては、土木研究所ホームページ(<http://www.pwri.go.jp/>)に掲載しております。

問 い 合 わ せ 先	
全般的なことについて	国立研究開発法人土木研究所 企画部 研究企画課 課長 崎谷 和貴 主査 古田 佳吾 電話 029-879-6751
研究内容について	国立研究開発法人土木研究所 水工研究グループ 水理チーム 上席研究員 石神 孝之 主任研究員 宮川 仁 電話 029-879-6783

別添-1

1. 共同研究の名称

吸引工法によるダムからの土砂管理技術開発に関する共同研究

2. 共同研究の概要

< 共同研究の目的 >

現在複数の土砂供給（排砂）技術が実用化されているが、下流河川環境への影響、陸域の環境への影響、ダム貯水池の運用への影響、コスト、労力等の課題がある。これらの影響を軽減しつつ下流河川環境の改善に必要とされる土砂を必要とされる河道区間に運搬することを可能にする効率的かつ効果的なダムからの土砂供給（排砂）技術の開発が求められている。

このため、土木研究所では潜行吸引式排砂管の技術開発を行っているところである。本共同研究では吸引困難な自然堆砂に含まれる大規模な塵芥等の種類・形状・大きさに応じた除去等の前処理手法について、土木機械の水中施工技術の活用をする新技術の開発を行う。

本共同研究により、ダムからの土砂供給（排砂）の効率化、省力化が図られることが期待される。共同研究参画者は、全国のダム貯水池における堆砂状況を踏まえつつ利用方法の拡大を図るための技術開発を進められることが可能となり、国外を含め、より多くの現場に適用可能な汎用的な技術開発に資することが想定される。

< 共同研究の内容（項目） >

（1）吸引工法における塵芥等の前処理システムの開発

- ①水中施工技術の改良
- ②水中施工技術活用方策検討

（2）潜行吸引式排砂管の吸引性能の向上

（3）とりまとめ

3. 実施期間 平成28年7月（予定） ～ 平成32年6月

4. 共同研究の内容及び研究分担

研究の分担

研究項目	研究細目	研究分担※1		年次計画				
		土研	共同研究者	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
(1) 吸引工法における塵芥等の前処理システムの開発	①水中施工技術の改良	○	◎	←————→				
	②水中施工技術活用方策検討	◎	◎	←————→				
(2) 潜行吸引式排砂管の吸引性能の向上	①潜行吸引式排砂管の吸引性能の向上	◎	○	←————→				
(3) とりまとめ	①とりまとめ	◎	◎				←————→	

※1 研究分担に主従がある場合は、主として分担する場合は◎印、従として分担する場合は○印とする。

5. 共同研究に参画する条件及び募集する参加者数等

< 参画条件 >

- ① 大水深（15m 以上）において、水中の堆砂に含まれる塵芥等を濁度が比較的高い環境下でも確認でき、かつ、バックホウ等の多様な建設機械を地上からのリモートコントロールでの操作による水中作業によって塵芥等の除去等が可能な水中施工技術を有しており、当該技術による工事現場での施工実績があること。
- ② ①の条件を満たし、本共同研究に必要な専門技術者の配置及び必要な費用を分担できること。

< 参加者数 >

3～5 者程度を想定

< 参加者の選定方法 >

書類審査・個別ヒアリングを行った上で選定する。

6. その他

申請書を提出する前に下記担当者までご連絡下さい。

7. 担当者

水工研究グループ 水理チーム

石神・宮川（TEL：029-879-6783）